

14:50 - 15:10 休憩

③確率表現の社会性

15:10 - 15:30 「次世代火山研究推進事業で目指すべき対策課題」

東大総合防災情報研究センター 関谷直也

15:30 - 15:50 「確率表現と社会の受け止め方、必要とされる情報について（各種災害事例から）」

山梨大学大学院総合研究部 秦 康範

15:50 - 16:10 休憩

○総合討論 16:10 - 17:00

(4) データ流通 WG

第1回

日時 平成29年7月24日(月) 14時00分～17時00分

場所 フクラシア東京ステーション K会議室

第2回

日時 平成29年9月14日(木) 13時00分～16時00分

場所 フクラシア浜松町 A+B会議室

第3回

日時 平成29年11月6日(月) 13時00分～16時00分

場所 フクラシア東京ステーション 5L会議室

4. 2 対外的発表

なし

5. むすび

データ流通 WG にて、「データ流通のためのシステムを作ったとしても、それだけでは火山研究の活性化にはつながらないのではないか」という意見があった。この意見はその通りであり、単にシステムを作っただけでは、次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトが目指す、火山研究の発展や火山災害の軽減、「観測・予測・対策」の一体的な火山研究にはつながらない。システムをいかに活用して、目的の達成につなげていくかが重要である。H30年度はデータ流通 WG の検討結果に基づきシステム開発を進めるが、並行してシステムを活用したデータの利活用や火山研究の活性化に資する取り組みについて、今後も検討していきたいと考えている。